

トランジションの重要性と目指すべき成人移行支援のあり方 — 移行期医療支援センターのミッションとは —

日時 **2025年2月5日（水）** 13:00～15:00（開場12:30）

開催方法 Zoomオンライン開催 予約制（定員500名）

対象者 成人移行に携わる支援者

（敬称略）

座長 今井富裕 かながわ移行期医療支援センター センター長

13:10 「トランジションの重要性とこれからの成人移行支援」
— 移行期医療支援センターの役割とは —
掛江 直子（国立成育医療研究センター 生命倫理研究室室長）

13:40 「北海道移行期医療支援センターの現状と課題」
田中 藤樹（北海道移行期医療支援センター センター長）

14:00 「かながわ移行期医療支援センターの現状と課題」
今井 富裕（かながわ移行期医療支援センター センター長）

14:20 総合討論

【登録期間】 2024年12月11日(水) ～2025年1月23日(木) 16:00まで

【登録URL】 <https://www.kanagawa-nanbyo.com/ext/kouen.php>

【参加登録が完了した方へ】 2025年1月28日(火)にZoom用URLをお知らせします

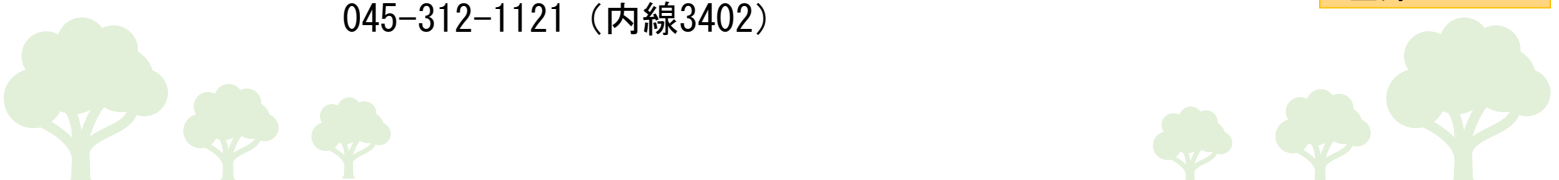
【お問い合わせ】 かながわ移行期医療支援センター

ikouki-shien@kanagawa-nanbyo.com

045-312-1121（内線3402）



登録はこちら



登壇



掛江 直子

国立成育医療研究センター 生命倫理研究室長
小児慢性特定疾病情報室スーパーバイザー

1997年 早稲田大学大学院人間科学研究科生命科学専攻 修士課程 修了
1997年 早稲田大学人間総合研究センター助手(バイオエシックス・プロジェクト)
2000年 Intensive Bioethics Course, Kennedy Institute of Ethics, Georgetown University (U.S.A.)
2001年 国立精神・神経センター精神保健研究所 流動研究員(社会精神保健部)
2002年 国立成育医療センター研究所 共同研究員
2003年 国立成育医療センター研究所 成育政策科学研究部 成育保健政策科学研究室 室長
2009年 Center for Clinical Bioethics, Georgetown University (U.S.A.) Visiting Scholar
2014年 独立行政法人 国立成育医療研究センター研究所 社会・臨床研究センター 生命倫理室 室長(組織改編)
2015年 国立研究開発法人 国立成育医療研究センター 臨床研究開発センター 生命倫理研究室 室長(組織改編)・小児慢性特定疾病情報室 室長(併任)
2018年 国立研究開発法人 国立成育医療研究センター 臨床研究センター 生命倫理研究室長・小児慢性特定疾病情報室スーパーバイザー(併任)



田中 藤樹

北海道移行期医療支援センター センター長

職 名：小児慢性特定疾病・在宅・移行期医療支援センター長、神経筋・成育センター副センター長 医長
認定資格：日本小児科学会専門医・認定小児科指導医 日本人類遺伝学会
日本遺伝カウンセリング学会臨床遺伝専門医・指導医
主な専門分野：小児科 先天代謝異常 臨床遺伝 重症心身障害 在宅・移行医療



今井 富裕

独立行政法人国立病院機構箱根病院
神経筋・難病医療センター 院長
かながわ移行期医療支援センター センター長

2022年より、箱根病院院長として着任。免疫性神経筋疾患の診断と治療を中心に、難治性の神経筋疾患全般の診療を行っている。
かながわ難病相談・支援センター センター長
かながわ難病情報連携センター センター長